

入間市人口ビジョンに対する意見一覧表

修正要否：○記述を変更する、×記述を変更しない、－記述の変更不用

No	区分		意見提出区分	意見等の概要	修正要否	市の考え方（対応）
	項目	ページ・箇所				
1	6人口の将来展望	P 2 5 人口の将来展望	パブコメ	<ul style="list-style-type: none"> ・①「平成72（2060）年において120,000人程度と設定します。」とあるが、人口減に対する施策を打たないと何人になるか明示すべき。 ・②若年層（15～24歳）の転出抑制に現在の転出を数値で表すべき、その半分目標 ・③子育て世代の転出抑制と転入促進に数値を表記すべき ・④合計特殊出生率の根拠をしっかりと理解しないと人口の将来展望は絵空事となりかねない。他の計画にも波及する。「若い世代の共働きが多くなっている傾向がなぜあるのか」を考え、若い世代の共働きは合計特殊出生率と関係があると思っています。相関関係を数値で算出し、評価指標の1つとして考えます。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・①ご意見を踏まえ、文章前段に「現在の人口動態をもとに人口推計を行うと、自然動態、社会動態ともに減少傾向であることから、平成72年には、9万人を割り込むことが想定されます。」と追記します。 ・②ご意見を踏まえ、27ページの若者の転出抑制・転入促進の記載を「平成32年以降は、大学卒業から10年間（21→22歳から30→31歳まで）の転出者が現在の半分程度の水準となる各学年13人ずつ（計130人／年）減らないし転入者が増えると仮定する。」に修正いたします。 ・③28ページに子育て世帯の転出抑制・転入促進について、標準モデル例を設定して数値を表記しております。 ・④本総合戦略は人口減少への対策施策を戦略的に配置した計画であることから、評価指標を設定し、継続的に効果を検証し、見直しを行ってまいります。
2	(2)産業別動向	P 1 9 ①農業、②狭山茶の生産	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・①農林業センサスの分析は、平成27年の農林業センサスの結果の反映は可能か。 ・②お茶の産出量、出荷量の掌握していただきたい。 	×	<ul style="list-style-type: none"> ①速報値のみの発表であり、市単位等の詳細な公表はされていないため、反映は出来ません。 ②分析資料はございません。
3			市民説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・分析の年号が和暦となっているが西暦での表示に出来ないか。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の年号については、併記しました。
4	全体		有識者会議意見	<p>【現状認識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民意識調査」のなかで、「住みにくい理由」のトップが「通勤・通学に不便だから（31%）」 ・一方で「住みよい理由」のなかで「（これから）住み続けたい・住んでいきたいが80%を占め、その60%が「持ち家であること」はその理由 ・高校・大学の卒業後から30歳の転出超過 ・30から35歳程度の子を持つ世帯の転入傾向 <p>【解決の方向性】</p> <p>定住促進に向けた「住みやすい街・住みたいと思う街づくり」 人口減少に歯止めをかけるべく、まち（インフラ、行政）・ひと（人口）・しごと（企業）それぞれの分野に対して広くバランスの取れた対応が不可欠。ひとをベースに考えると・・・</p> <p>○親世代に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち家促進に向けた環境整備（まち） ・毎日の生活に利便性がある（まち） ・地域周辺において雇用機会の創出→企業側も継続的な人材確保が喫緊の課題（しごと）、企業誘致・規模拡大に向けたサポート（まち） <p>○子供世代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼いころから地域社会への参画意識の醸成（まち） 例：地域・地場産業の理解 ・幼いころからの地元企業との触れ合う機会を継続的に創出（まち・しごと）どんなことをやっているのか、何を作っているのか。 <p>例：インターンシップ、企業説明会（地元企業の魅力を理解）</p>	－	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見として、今後の具体的な事業を検討するにあたり参考とさせていただきます。

No	区分		意見提出区分	意見等の概要	修正要否	市の考え方（対応）
	項目	ページ・箇所				
1	5 基本目標の好循環の確立	P 6 基本目標の好循環の確立	パブコメ	・図の自然増そして社会増により120,000人を維持する事はよくわかります。しかし、H25、26の社会増減は均衡している。それに比して同項上段の合計特殊出生率はH25、26と明らかに全国、埼玉県より入間市は非常に悪い、出生率を飛躍的に向上させることが入間市においては大事であることを明示すべきと考える。	×	・本市においては、社会増減よりも自然増減の影響度が高いものと思われますが、人口構成のバランスに配慮することも重要であり自然増に向けて単に出生率の向上に着目するだけではなく、子どもを産み育てる年代層の転入促進を図る社会増の取組についてもバランスよく行ってまいります。
2	6 基本施策一覧	P7 基本目標における基本施策	有識者会議意見	全世代を対象にせず、「元気な子どもが育つまち」をテーマに掲げたところに入間市の戦略の特徴があると思います。その特徴がもっと色濃く表れるように、基本目標の順番は2・3・4・1と並べ替えてはいかがでしょうか？	×	・配置については国、県と同様としております。すべての基本目標でテーマを意識した施策、事業を展開することで、「ひとの定住」、「まちの魅力創出」、「地域経済の活性化」を生み出し、互いに効果をおよぼす好循環を確立して「元気な子どもが育つまち」づくりを目指してまいります。
3		P 9 しごとの場をつくる	パブコメ	・立地条件に強みがあるエリアという地理的な要素をアピールポイントとして、雇用創出につながる企業の誘致を推進します。」とある。そこで、①既存の優良企業のための事業用地の確保に努める。②農地法による規制緩和に努めるを追記すべきと考える。	×	・現在策定を進めている次期総合計画において検討してまいります。
4	基本目標 1 働きやすいまちをつくる	P 1 1 地域産業を振興する	パブコメ	（課題） ・①狭山茶以外の特産品を開発する。単に商店街の活性化と書くのではなく「入間市の中心市街地である扇町屋アポポ商店街の活性化を図る」と書くべきと考える。 （施策展開） ・②狭山茶の振興とあるが、地産地消から脱却して市外に売り出していくと明示すべきと考える。つまりそのために市として販路拡大についてどうしていくかが問題である。 ※地方創生とは以前から申し述べているとおり産業振興である。商業・農業・工業・観光産業を入間市独自にどのように取り組んでいくかの戦略を明示していかなければならない。（K P I も設定して）	×	・地域の産業振興は、地方創生において不可欠であり重要な取組であると認識しております。貴重なご意見として参考とさせていただきます。
5	基本目標 2 ずっと住みたいまちをつくる	P16 子育て世代の移住を促進する	有識者会議意見	・素案には人口減少を止めるための施策が多数挙げられていますが、一番効果的な方法は子育て世代の転入を増やす施策だと思います。現在、世間の関心は待機児童問題ですが、入間においては学童保育の充実の方が課題なのかもしれません（小学校入学を機に引越しを検討している知人もいます）。乳幼児の保育サポートに加えて、「小1の壁」解消の取り組みを盛り込んで頂きたいです。	－	・「小1の壁」につきましては、基本目標3「子どもの育ちを支える」、基本施策「子どもの生きる力を育む」で取り組んでまいります。
6		P 1 7 子どもの育ちを支える	パブコメ	・このパートは入間市版総合戦略においては非常に重要である。前述したように入間市では合計特殊出生率が非常に悪い。出生率を向上させる施策をうつ事が重要となる。取組内容はそのとおりであるが、市が縦割り行政から脱却し、福祉（含健康福祉センター）、教育委員会そして環境経済（部）・都市建設（部）による雇用創出まで横の連携を図っていく事を明示すべきである。つまり、職員の意識改革なしで地方創生を図ることは不可能なのである。	×	・今後、政策間連携を図った事業を検討してまいります。また、職員の意識改革につきましては、現在策定を進めている次期総合計画において記述してまいります。
7		P 1 9 子育てをサポートする	パブコメ	（現状）と（課題） ・①小児救急医療体制が遅れているので医師会・狭山保健所・県等の協力を得ながら充実に図るべきと考える。 （施策展開） ・②「地域ぐるみで子育てを支援する体制づくりを進めます。」とある。従来の学校教育中心から社会教育も含め学校施設を複合利用する事を求められている。学童保育・放課後子ども教室を安全で安心な学校施設で開催できるように努めていくとすべきである。また、保育ならびに学童保育については待機児童を出さないような施策に取組んでいきます。入間市においても共稼ぎ家庭が一般的であり母親の子育て軽減のため保育・学童保育制度が大変重要となっている事を認識すべきである。	－	・貴重なご意見として、今後の具体的な事業を検討するにあたり参考とさせていただきます。
8	基本目標 3 子どもの育ちを支える		有識者会議意見	（現状） ・①「病後時保育」との表記があります。「病後児」ではなく「病後時」で間違いはないでしょうか。保育の領域では、「病児・病後児保育」との表記が一般的ですので、ご確認ください。 （施策展開） ・②父子家庭への言及は必要ないでしょうか。 ・③里親制度の推進について言及できませんでしょうか。 ・④「一貫したサポート体制」との表記ですが、「ワンストップ型支援体制」との表現を併記してはどうでしょうか。	○	・①「病児・病後児保育」に修正しております。 ・②、③、④現在策定を進めている次期総合計画において検討してまいります。
9		P 2 1 子どもの生きる力を育む	パブコメ	（課題） ・①学力向上に資する教育の充実→K P I 化のため学力テストの数値向上を指標とする。 ・②体力向上に資する教育の充実も追記 （施策展開） ・③「地域に根ざした特色ある教育を推進するとともに、「生きる力」を育む取組を推進します。」とある。前述したように学校教育中心から社会教育にも力を入れた教育が求められている。現在生涯学習部で取組んでいる「放課後子ども教室」を充実させ、地域と一体となった子どもの体験事業に注力していくと明示すべきである。	×	・①学力向上は学力テストのみで評価できないため別の評価指標を設定いたしました。 ・②課題の1点目の記載を「子どもたちが「生きる力」を身につけるための確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成」と修正しております。 ・③貴重なご意見として、今後の具体的な事業を検討するにあたり参考とさせていただきます。
10			有識者会議意見	・文科省ベースの「生きる力」との表現ですが、もう一段、高い目標を掲げるとすれば「生き抜く力」でも良いかもしれません。	×	・総合計画との整合を図るため変更はいたしません。
11	基本目標 4 まちの魅力を活かす	P26 シティセールスの推進	有識者会議意見	地域に愛着を持つことは、定住人口を増やすことにつながると思いますので、「シビックプライドの醸成」には賛成です。しかし、「市内企業の優れた技術や製品」を知ることが地域への愛着や誇りにつながるかどうかは疑問です。あるサイトでは、「シビックプライドとは、一人ひとりが都市を構成する一員であるという当事者意識を持って自発的に街づくりに参加すること」と定義しています。「シビックプライドの醸成」の説明部分は、少し違った切り口の方がしっくりくるのではないのでしょうか？ 24ページの地域コミュニティの充実なども、シビックプライドに関わってくる部分だと思います。	○	・27ページ施策展開の文章を「市民が地域コミュニティの充実などにより「住み続けたい」、一旦本市を離れた市民が「戻って来たい」と思ってもらえる「まち」、市民一人ひとりが本市に対して愛着や誇りを抱く、シビックプライドの醸成を推進します。」と修正します。
12	全体	施策について	パブコメ	現状分析及び将来予測については、非常に詳細に記述されておりますが、「人口の将来展望」の基本方向として3つの「基本的視点」、また「元気な子どもが育つまち」を実現するために「基本目標における基本施策」を掲げられております。今後、プロジェクトで検討を深められると思いますが、「～支援する」、「～促進する」等々ありますが、より具体的な施策をお待ちしております。	－	・貴重なご意見として、受けとめさせていただきます。
13		重要業績評価指標（K P I）について	全員協議会	・新規事業の現状値の記載はなくていいのではないかと。 ・アウトプットの指標と、アウトカムの指標が混在している。基本的にはアウトカムの指標になると考える。	○	・評価指標の見直し、現状値、目標値を設定しております。